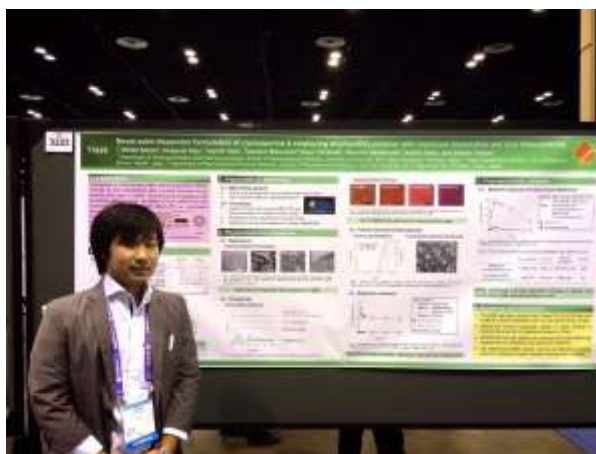


2015 米国薬学会年会にてポスター発表

2015年10月25日から29日に米国フロリダ州オーランドで開催された AAPS Annual Meeting and Exposition に参加してきました。本学会では製剤学を中心に幅広い分野の研究者が集い、活発な議論が行われていました。また、会場には数多くの企業ブースが設けられており、最新の実験装置や様々な実験器具を知ることができました。

私は10月27日に「両親媒性ポリマーを用いた新規固体分散体制剤化によるシクロsporin A の溶解性および経口吸収性の改善」というタイトルでポスター発表を行いました。自ら積極的に話しかけることで多くの方とディスカッションをし、そのディスカッションを通し、様々な角度から自身の研究について考えることができました。しかし、伝えたいことを簡潔に答えることができない部分もあり、ディスカッションをより充実させるためには、今後英語でのプレゼン能力やコミュニケーション能力をますます高める必要性を感じました。

本学会への参加は、自身の初の海外での発表ということもあり、非常に貴重な経験となりました。今回、このような発表の機会をいただいたことに心から感謝するとともに、今後の研究や英語への取り組みに対するモチベーションがさらに高まりました。



薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 薬物動態学教室
博士後期課程 1年 鈴木 寛貴